

The way is open where there is a will

～意志あるところに道は開ける～

キャリア教育部通信 第4号

令和5年7月3日

中学生のみなさんへ

キャリア教育部

期末考査は終わりましたでしょうか。これから8月末までに自分の将来のことを考える時間がたくさんあります。今回は、将来のことをしっかり考えてほしいと思い、「**2030年までの変化**」をキーワードにネット検索してみました。ネットの1ページ目に以下のものが出てきました。

「2030年の世界 知っておきたい9つのメガトレンド」

「2030年、どんな未来を描きますか」

「2030年の社会・企業の未来シナリオ」

「2030年に想定される社会」……

これらの記事を読むとトレンドも変わり、社会も変わり、企業の在り方も変わることが分かります。皆さんは何歳ですか？進学していれば、大学生の頃です。このころを想定して、逆算して、何をやってみたいかということを考えてみてはどうでしょうか。

「参考になるかな。将来の職業に関係あるのではないか。」という内容のものを書きましたので、自分の将来を考える際の一助としてもらえたら嬉しいです。

*近い将来、起こりうる9つのグローバル・トレンド

人口動態

世界の人口は今よりも約10億人増え、平均寿命も延びる。

都市化

2030年、私たちの3分の2は都市に住んでいるだろう。都市化が進み、中規模の主要都市がさらに誕生してくる。生活費は上がる。ビッグデータやAIによって、ビルの効率化がさらに進むだろう。食料がもっと必要になる。アーバン・アグリカルチャー（都市農業）を迅速に増やしていくという方法もある。

透明性

世界はさらにオープンなものになり、プライベートという括りが少なくなってくるだろう。すべてのものを追跡・監視するという傾向がどこまでも行き渡ることは想像に難くない。情報分析ツールがより発達し、一部の意思決定は簡単にできるようになるだろう。

気候変動

気候は急速に変わり、異常気象がどこでも発生するということが続くだろう。気候が急激に、危険なほどに変わっているということは疑いようもない事実だ。現状のままだと、2030年までには地球の平均気温は1.5°C上昇するだろうし、それに向かっているのが現状だ。気候変動が引き起こす結末は容赦のないものだろう。

資源不足

経済成長に合わせて、金属などの主要な鉱物資源の埋蔵量を保つためにも、早急に循環型モデルに移行する必要がある。水は不足している資源だ。水不足問題の解決策となる脱塩技術へのさらなる投資が求められている。

クリーンテック（環境保全技術）

ゼロ炭素技術を使った送電網や車道、ビルは予想よりも遥かに拡大しているだろう。電気自動車が輸送手段の大半を占めるだろう。電気自動車の割合は、2030年までにほぼ100%近くになると予想されている。

テクノロジー・シフト

IOTは勝利を収めるだろう。AIと機械学習は私たちの暮らしの計画を立て、より効率的に、上手く交通を最適化し、車のルートを選べるようになるだろう。

国際政策

政策を予測するのはほぼ不可能であり、気候変動やそのほかのメガトレンドに対して世界政策がどう展開するのかを想像することは難しい。

ポピュリズム

近年、あらゆる国においてポピュリストが選挙で支持され、権力を強化している。その他、独裁制へと押し戻されている国もある。こんな状況が続いていくのだろうか。

これらのトレンドは政治家や大企業が解決するものではなく、地球に住んでいる我々、一人一人が当事者意識をもって、解決していく問題です。個人レベルでも組織に属してでも解決していく努力はできます。アイデアを出すこともできます。また、全ての仕事が上記のトレンドに関係しています。

確実に社会は変わっています。この時に必要な力は、よく言われていますが、**自分で根拠をもって、考えて行動する力**です。人に指示されたことを素直にやる仕事はなくなります。数人で良いので、チームを組んで直接的・間接的に上記の課題に取り組みながら、働いていく必要があるのではないのでしょうか。大企業に属して、取り組むのもいいです。

「より深く考えて行動する力」をつけることを意識しましょう！テストができる・できないではなく、1時間1時間の授業を大切に、**考えて学ぶ**ことです。これを続けること。今の君たちなら確実に伸びていきます。